

おおいた森づくり税と国の森林環境税の比較

おおいた森づくり税(H18～)

(旧名称:大分県森林環境税)

○税額 個人 500円/年
企業 1,000～40,000円/年



○税収額 約3.4億円/年

○目的 ①森林環境の保全
②森林を守り育てる意識の醸成

○活用主体 県

○大分県の活用方針

県全域の課題解決に向けた取組に活用する

○主な用途 県による森林環境の保全を推進

- ①県民の暮らしを守る森づくり
・流木被害対策やシカ被害対策
- ②森林資源の循環利用
・低コスト再造林や竹林の活用
- ③森林を守る意識の醸成
・森林・林業教育の推進



狩猟者の育成



費用を抑えた再造林



森林・林業教育

国の森林環境税(H31～)

○税額 個人 1,000円/年
(R6から課税開始)



○国からの配分額 18市町村 13.3億円/年
(R6実績) 大分県 1.5億円/年

○目的 ①パリ協定の温室効果ガス排出削減目標達成
②災害防止等

○活用主体 市町村、県

○大分県の活用方針

地域(市町村)の課題解決に向けた取組に活用する

○主な用途 市町村による公的な森林管理を推進

- ①経営放棄林の整備
・経営意向調査や間伐
- ②担い手の確保・育成
・新規就業者育成支援
- ③木材利用の促進
・木材普及イベント開催



経営放棄林の間伐



造林作業員育成



木材普及イベント

※県の用途は市町村の森林管理の支援等に活用している